

**OpenSSO&OpenAM
コンソーシアム**

平成23年度 活動計画

2011年12月15日(木)

野村総合研究所
丸の内総合センター 8F 大会議室81

◆ 設立趣旨と目的の確認

【設立の趣旨】

OracleによるSunの買収により、Sunが開発したオープンソースのSSOソフトウェアである「OpenSSO」について、国内のユーザ企業から「OpenSSOコミュニティ」の存続に関する不安の声があがっている。

日本における「OpenSSO」のユーザ企業、及び「OpenSSO」に関するソリューションを提供しているプロバイダー企業は、ユーザ企業が今後も安心して「OpenSSO」を継続的に利用できるように、協力してオープンソースソフトウェアとしての「OpenSSO」、及びそのコミュニティを維持させていく必要がある。

また、近年のコンプライアンスや内部統制の強化という流れから、今後も「OpenSSO」が果たす役割は大きく、さらなる普及の促進や、機能面の継続的な拡張を行っていく必要がある。

さらに、欧州では、OpenSSOから派生したOpenAMが、OpenSSOの後継として認知されつつある。効率よくOpenSSOを維持・発展させていくために、日本と欧州のコミュニティが連携して活動していく必要がある。

我々は、OpenSSO(およびOpenAM)を維持・発展させ、さらに普及させていくことを目的として、「OpenSSO & OpenAMコンソーシアム」を設立する。

【目的】

●「OpenSSO」を継続して維持・発展させる。

会員企業が、「OpenSSO」に対して、バグFIX、セキュリティ対策を行う際に、会員企業間で情報交換や連携を行うことで、効率よく維持・発展させていく。

●「OpenSSO」と「OpenAM」とを統合する。

今後、会員企業が行う「OpenSSO」に対するメンテナンス、及び機能拡張は、基本的に「OpenAM」のリポジトリに対して行う。

●「OpenSSO、及びOpenAM」の普及を促進する。

コンソーシアムとして、セミナーの開催や、イベントへの出展を行い、「OpenSSO、及びOpenAM」の普及に努める。

●日本のマーケットに対して、「OpenSSO、及びOpenAM」が安心して、継続的に利用できることを認知させる。

コンソーシアムとして、セミナーの開催や、イベントへの出展を行い、「OpenSSO、及びOpenAM」の普及に努める。

振り返り

目的に対しての活動

セミナー	1回のみ
イベント	開催なし
ワーキンググループ	開発WG 3回、ユーザーWG 0回
ホームページ	震災お知らせ、ChangeLog和訳
会員数	正会員企業11社、一般会員企業4社

活動コンセプトの確認

開発WG→バグ情報の和訳し、公開していく。
ユーザWG→事例を集約し、公開していく。

全会員企業により事例や技術情報の交換や連携を行う。
コンソーシアム発信により啓蒙活動を行う。



これにより、OpenSSO(OpenAM)**継続維持発展**を目的とする。
各社のソリューション紹介だけではなく、事例の公開によりOpenSSO(OpenAM)
のメリットや、OpenSSO(OpenAM)**使用時の懸念点の解決方**
法などを中心に、**コンテンツ**を作成し、公開(発信)していく。

◆ 平成23年度 活動方針

活動内容の明確化

- 会員事例を集め資料化する。
→事務局によりコンソーシアム作成の定形フォーマット作成
→各社に事例(セールス事例可)を記入頂く
- 資料化されたアウトプットをWebやチラシとして公開/配布する。
→コンソーシアムサイトでの公開や会員各社の活動時に配布
- 技術セミナーおよび事例セミナーを上/下半期に各1回のペースで実施する。
- ChangeLog和訳を開発WGで実施していく。
→Snapshot、Agentについて和訳を実施
- 技術セミナーやワーキンググループコンテンツを含む議事内容は、
コンソーシアムサイト、メーリングリストを通じて広く告知する。
- エンドユーザーから、OpenSSO(OpenAM)普及の阻害要因を
ヒアリングし課題を解決する。
→事例セミナー実施時にアンケート形式により課題を確認
→抽出した課題は、Q&A形式により、コンソーシアムサイトで公開する。

◆ 平成23年度 活動計画

	活動	時期	詳細
1	WEBサイト	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員各社の事例を定型フォーマットにて掲載し、SEO対策を施す ・ 技術情報のページの運用 →掲載内容:翻訳、事例、会員各社のSSOセミナー情報など ・ ForgeRock社、最新情報を掲載 ・ Facebook、Twitterの運用 →投稿内容:会員各社のセミナー情報など
2	イベント	通年	・各社のイベント時にコンソーシアム資料を配布
3 ワーキンググループ			
	開発WG	年2回	・定期的な情報交換会の実施
		通年	・ ChangeLog和訳の実施
	ユーザWG	年2回	・定期的な情報交換会の実施
		通年	・事例資料の作成、更新
	合同ミーティング	年2回	
4	セミナー	年2回	・技術情報、事例セミナーの実施
5	その他	随時	・他の団体(※1)との連携や共催セミナー開催など

※1:医療分野認証基盤整備コンソーシアム、オープンソースビジネス推進協議会(OBCI)、日本OSS推進フォーラム、情報サービス産業協会(JISA)など

◆ 平成23年度 活動スケジュール

WEBサイト関連

時期	活動項目
2011年12月	<ul style="list-style-type: none">・会員限定情報タブを技術情報タブに変更・ChangeLog和訳を掲載・事例定型フォーマットの作成・Facebookページ、Twitterアカウントの作成<ul style="list-style-type: none">■facebookページ「OpenSSO&OpenAMコンソーシアム」■Twitter【ユーザーID】OpenAM_conso【名前】OpenAMコンソーシアム
2012年1月	<ul style="list-style-type: none">・Facebook、Twitterの運用ルールの策定、告知・Facebook、Twitter開始
2012年2月	<ul style="list-style-type: none">・事例掲載、技術セミナー/事例セミナー情報掲載

WG、セミナー関連

時期	活動項目
2012年1月	<ul style="list-style-type: none">・ユーザーWG実施、ヒアリング実施
2月後半～3月初旬	<ul style="list-style-type: none">・技術セミナー/事例セミナー開催
4月～8月	<ul style="list-style-type: none">・開発WG、ユーザーWGを交互に実施
9月初旬～10月	<ul style="list-style-type: none">・セミナー開催

**OpenSSO&OpenAM
コンソーシアム**

<http://www.openam.jp/>

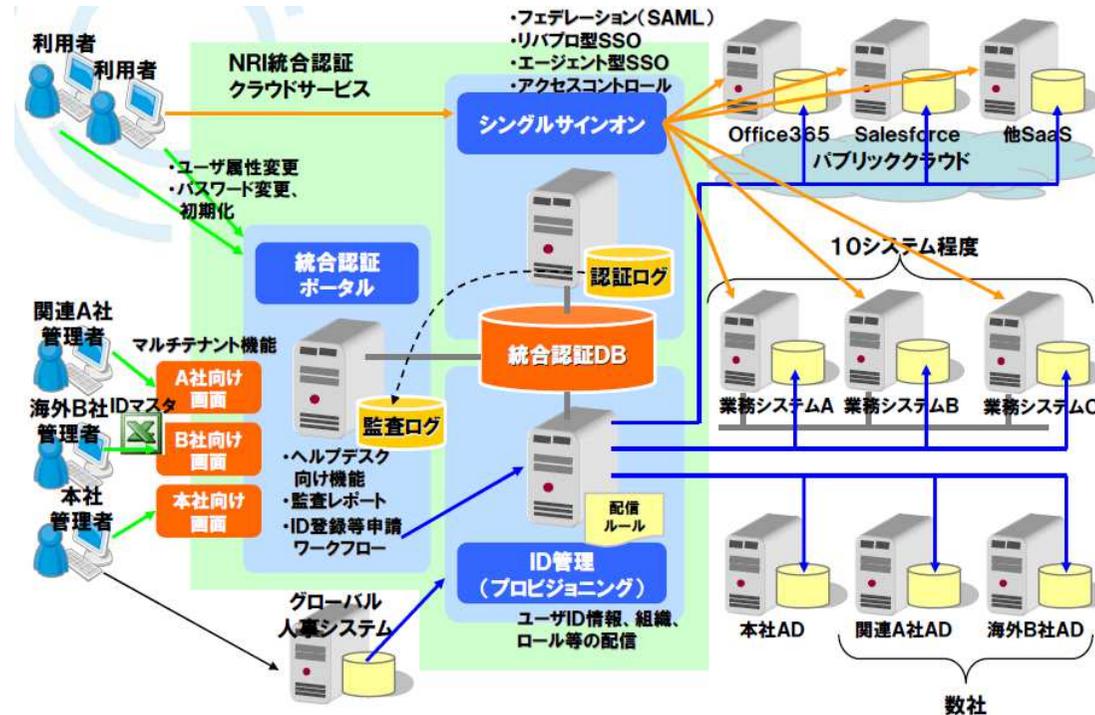
事例サマリ

顧客(企業)名(●●業)	●●●●(サービス業)
システム(業務)概要	インターネット上にある複数の会員サイト間(会員数:約3万人)で、シングルサインオン、及びアクセスコントロールを実現したい。
お客様の課題	<ul style="list-style-type: none">●システムコストを削減したい。●ベンダーロックインの排除。
利用したソフトウェア	<ul style="list-style-type: none">●OpenSSO、Tomcat、OpenLDAP
設計上、マネージメント上のポイント	<ul style="list-style-type: none">●インターネットシステムでリクエスト数が多いため、性能を考慮してエージェント方式を採用
良かったこと、悪かったこと	<ul style="list-style-type: none">●OpenSSOを活用し、低コストでシングルサインオンを実現●実行環境として必要な、TomcatやOpenLDAP(今回はMicrosoft ADを利用)を含めて、ワンストップサポートが可能。

■ 複数の会員サイト間でシングルサインオン及びアクセスコントロールの実現

事例紹介サンプル

事例イメージ



企業情報

会社名	株式会社野村総合研究所
お問い合わせ先担当者	寺田
お問い合わせ先メールアドレス	oss@nri.co.jp
URL	http://openstandia.jp/